

令和元年度 第2回 静岡県作業療法士会 理事会議事録

1. 開催日時 令和元年6月22日 午後0時55分～ 5時25分
2. 開催場所 公益社団法人 静岡県作業療法士会事務局（静岡市葵区昭和町9-5 第二大石ビル8F）

3. 出席者（順不同）

理事総数	15名				
出席理事	12名				
代表理事	岡庭 隆門（議長）				
理事	三井 忍	村岡 健史	大庭 俊裕	齊藤 洋平	藤田 さより
	大石 裕也	岡本 博行	伊井 玄	生田 純一	建木 健
	川口 恭子				
部長等	金子 智治	増田 昌行	大塚 幸二	伊海 友雪	尾崎 勝彦
監事	小笠原 誠	遠藤 浩之	秋山 恭延		
事務局	武内 元	大塚 昭宏	杉浦 志帆	高岡 留美	

4. 決議事項

- 第1号議案 役員体制の件
- 第2号議案 介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会担当者の件
- 第3号議案 新たなワーキング体制について
- 第4号議案 「協会員＝士会員」の実現に向けての方策と工程表（案）について
- 第5号議案 臨床実習指導者研修会開催の件
- 第6号議案 その他（各部局からの決議事項）

5. 報告事項

- 報告第1号 令和元年度総会報告
- 報告第2号 学会進捗（第19回東海北陸作業療法学会、第33回県士会学会）
- 報告第3号 各部報告（職務執行状況の報告）

6. 開会

事務局が定数を満たしていることを報告し、議長は本会が成立していることを宣言した。

7. 議事の経過要領及びその結果（決議事項）

- 第1号議案 役員体制の件（別紙参照）：役員自己紹介
- 第2号議案 介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会担当者の件
事業内容として、厚労省の事業をOT協会が手上げし、各士会に委託（単年度事業）。企業が作った介護ロボットにおいて、クライアントのニーズが吸い上げられていない課題があったため、そこに作業療法士が連携していく流れ。⇒ 窓口担当：建木理事
- 第3号議案 新たなワーキング体制について ⇒ 承認
2つのワーキングを理事会に紐づけし作りたい。
①県士会中長期ビジョン：担当 3役、岡本理事、生田理事、大石理事（リーダー）
②ライフワークバランス「会員誰もが活躍しやすいプロジェクト」
担当 3役、齊藤理事（リーダー）、川口理事、藤田理事、岡本理事
(意見)
 - ・定年後OTに対する就職相談窓口の設置や県士会事業（研修会講師など）を手伝ってもらう
⇒ ライフワークバランスに含めて検討
 - ・県士会の積立資金の運用や妥当性を財務との連携も含めてワーキングで検討
- 第4号議案 「協会員＝士会員」の実現に向けての方策と工程表（案）について
 - ・2022年の実現に向けて資料がOT協会から届いている
⇒ 事務局で確認し懸案事項は理事会にて提案
- 第5号議案 臨床実習指導者研修会開催の件
 - ・OT士会、PT士会、養成校（PT学科、OT学科）4組織で構成し今後研修会を企画していく。
 - ・来年度入学生よりカリキュラムが変更になり、当該年度以降の臨床実習生を各施設が受け入れるためにはこの研修会を履修する必要がある（厚労省からの通達）

第6号議案 その他（各部署からの決議事項）

1) 学術部

- ①SIG と WG の再編における名称について、小児・発達障害班 ⇒ 「発達領域班」に変更
現在は精神障害班、高次脳機能障害班、認知症班、福祉用具班、発達領域班の5班
- ②学術部 Wi-Hi：公益法人へと変更を行う ⇒ 事務局より学術部へ渡す
- ③資金移動：個人名義での会計の口座にて管理している。資金管理方法は検討が必要

2) 教育部

- ①部員外スタッフへの交通費支給の件について
⇒ 部員含めた運営スタッフへの支給に関する認識の周知が不十分だった。再発防止に向けて課題として検討。
- ②MTDLP
 - ・基礎研修用の協会マニュアルの購入について
⇒ 参加申し込みフォームで県士会発注有無の欄を設ける。「有」にチェックがない参加者直接協会から購入する。
 - ・静岡支部として本来は存在しない MTDLP 委員会と呼称し会議を進めている。
⇒ 「班」として進める。
MTDLP の諸々の研修会において生涯教育プログラムの位置づけで行っているという認識が薄いため周知できるよう説明してほしい。

3) 広報部

- ①ホームページ上に定款細則等規約に関する文書を随時掲載していきたい。
⇒ 理事会承認を経て掲載していくことで承認
- ②OT いきいきカルタ
千葉県（特養勤務）OT よりレンタル依頼あり。郵送費等含めて対応を検討したい。
⇒ アンケートや広報を併せてお願いし貸し出す。

4) 渉外部

- ・代表理事（会長）変更に伴う関連団体への案内を送付 ⇒ 承認

5) 地域事業部

- ①「地域ケア会議及び介護予防・日常生活総合事業に関する人材育成研修会」への参加を
建木理事と岡田氏が参加。建木理事の交通費は県士会より支出。
伝達講習会は事業計画を立て補正予算を組み理事会にて審議 ⇒ 承認
- ②地域包括ケアシステム推進委員会は今後も地域事業部が担う ⇒ 承認

6) 制度対策部

- ①部長を検討中。推薦者を募集している。
- ②2020年4月頃の診療報酬改定説明会を開催予定 ⇒ 承認

7) 福利部

- ①東海北陸作業療法学会レセプション
参加費 5,500 円だが、福利厚生費として 500 円×200 名=10 万円を補正で組みたい。
⇒ 承認（県士会員は福利厚生費、非会員は渉外費として計上）

8) 災害対策委員会

- ・OT 協会災害シミュレーション訓練の参加有無 ⇒ 実施するよう回答

9) 東海北陸作業療法学会

- ・演題査読者の選定：県内養成校の教員及び修士又は博士保有者へも依頼したい ⇒ 承認

10) 総会運営委員会

- ①役員選挙結果については、一部修正してホームページへ掲載
- ②懇親会の会費徴収不備に関して：2名分の会費が不足していた。福利部で捻出。
今後はまるめで行うなど会場との交渉も検討が必要。

11) 中部地区：福祉用具サービス計画書作成研修への OT 派遣 5名 ⇒ 承認

12) 事務局（委員派遣依頼）

- ・浜松市障がい自立支援協議会地域で暮そう部会構成員の推薦1名 ⇒ 建木理事

13) その他

- ・メディメッセージ 2019 (村岡副会長)

協和医科器械主催で静岡市にて開催 (9 月 28・29 日)。今回作業療法士が参画できる機会が与えられそうだが行うか。

⇒ 費用含めたマンパワーが課題。地域事業部としては、計画していた事業が重なる時期でもあり、事業を変更して行ふなどの工夫が必要。今年度は主催者から状況確認し次年度以降にエントリーを検討。

8. 報告事項

会長変更に伴う挨拶

秋山前会長：健康に寄与できる職種ということ、後輩を育てるという認識を高めて『all shizuoka』を組織作っていただきたい。

岡庭新会長：理事の年齢層も若くなり役員体制も過渡期に差し掛かっている。身近に感じられる県士会にしていきたい。メリハリ、緩急をつけて行っていきたい。
新任理事には新任だからこそその意見を挙げていただきたい。

報告第 1 号 令和元年度総会報告

- ・運営スタッフからの次回に向けての改善点について報告を受け取りまとめた。
- 学会会期以外の総会だった。改善点含めて今後に活かしていく。

報告第 2 号 学会進捗 (第 19 回東海北陸作業療法学会、第 33 回県士会学会)

- 1) 東海北陸作業療法学会：スケジュールを HP へ掲載中
生涯教育制度事例報告会での報告を学会でも発表するよう促す。
- 2) 第 33 回静岡県作業療法学会
 - ①公開講座：講師を木村泰子氏 (大阪市立大空小学校初代校長) へ依頼予定
 - ②交通費未払についての報告

報告第 3 号 各部報告 (職務執行状況の報告)

- 1) 教育部：新人オリエンテーションでのアクシデントは原因分析し改善策を検討していく。
- 2) 広報部：会報誌 133 号発送。広報誌 Vol. 4 は高次脳機能障害変で企画、編集開始。
- 3) 福利部：静岡 OT リーダー研修会：9 月 14 日 or10 月 5 日で検討中。事務局横を使用予定
東海北陸リーダー育成研修会の担当者変更 ⇒ 福利部
- 4) 各地区：地区連絡網の管理について、発信数の実績等の集約と報告をお願いしたい。
- 5) 災害対策委員会：各種研修会の実施、他団体研修会への参加予定。
- 6) 訪問リハ：今年度も実務者研修会を開催予定 (会報誌同封予定)
- 7) 法人管理委員会：5 月 28 日 公益法人説明会に参加 (勝又、大庭)
6 月 21 日 法務局へ変更登記申請
欠格事由に該当しない旨の確認書への理事・監事の記名を実施
- 8) 財務部：15 万円を補正予算として計上 (チャレンジ事業の予算として)
- 9) 事務局：コンビニ払いは 6 月末で期限切れ。随時未払会員への通知を送付する
理事及び部長の名刺作成 (担当部局を印字)
⇒ 担当部局などのレイアウト含めて総務理事より理事ミーティングで連絡。
関係団体へ会長挨拶状発送

9. 第 3 回理事会：8 月 3 日

令和元年度理事会開催予定日および開催日

	開催日・候補日		備考	主な行事
第 1 回	4 月	21 日 (日)	新人オリエンテーション時	
第 2 回	6 月	22 日	拡大理事会 (新旧役員)	6/15 総会
第 3 回	8 月	3 日	納涼会	
第 4 回	10 月	5 日、12 日、19 日、26 日		
第 5 回	12 月	7 日、14 日、21 日	拡大理事会、忘年会	
第 6 回	2 月	8 日、15 日、22 日、29 日		1~2 日 (47 委員会)
臨時理事会	3 月	20 日、21 日、22 日	年度末の会計	

10. 議長は以上をもって議事は終了した旨を述べ、午後5時25分、閉会を宣言した。
以上の決議を証するために、この議事録を作成し、議事録署名人が署名・押印をする。

議事録作成者 武内 元